

桜町 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

国語

科目 現代の国語

教科 国語

科目 現代の国語

単位数 3 単位

対象学年組 第 1 学年 A 組

使用教科書 （ 新編 現代の国語 東京書籍 ）

教科 国語

の目標

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	単元1 自己を見つめる 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の主張を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	こそめスーパ ルリボシカミキリの青	○		○		【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。常用漢字の読みに慣れ主な常用漢字を書き文や文章の中で使っている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ内容や構成論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く筆者の主張の要旨を捉え今までの学習を生かし自分の興味関心を確認し考えをまとめ伝えようとしている。	○	○	○	10
	単元2 他者に出会う 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の主張を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	未来を創る想像力 水の東西	○		○		【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするのに必要な語句の量を増すとともに語句や語彙の構造や特色用法及び表記の仕方などを理解し語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価し自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く筆者の考える「想像力」を理解し学習課題に沿って実際の生活を見直し情報社会における自己の在り方について考えを深め話し合おうとしている。	○	○	○	12
	定期考査							○	○	○	1
	単元3 言葉と生活 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的でわかりやすい文章表現、話し方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	分かりやすい説明をしよう	○		○		【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	6
	単元3 言葉と生活 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的でわかりやすい文章表現、話し方を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	異なる種類の文章を読み比べよう	○		○		【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し使っている。 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に分かりやすさ、適切さに配慮した表現を理解し、学習課題に沿って相手の反応を予想して、話の構成や展開を工夫して話そうとしている。	○	○	○	6
	定期考査							○	○		1
	単元4 視野を広げる 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の主張や人物の心情を的確に理解	スキマが育む年の緑と生命のつながり 無彩の色					【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。				

2 学 期					【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。					14		
	単元5 社会と関わる 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の主張や人物の心情を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	森で染める人々 真夏のひしこ漁		○	○	【知識・技能】 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し、学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。					14	
	定期考査							○	○	○	1	
	単元6 言葉と生活 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の主張を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	発想を広げる方法を使って話し合おう 新聞記事を読んで意見文を書こう		○	○	【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 【思考・判断・表現】 「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話し合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話し合いの仕方や結論の出し方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の意見や考えを文章化し、スピーチしようとしている。						14
	定期考査							○	○	○	1	
3 学 期	単元7 世界とつながる 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の主張を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	美しさの発見 りんごのほっぺ			○	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分なりの意見や感想を文章化しようとしている。		○	○			12
	単元8 未来に目を向ける 【知識及び技能】 基本的語彙、漢字の習得。 【思考力、判断力、表現力等】 作者の主張を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の意見を文章化できる。	不思議な拍手 真の自立とは		○	○	【知識・技能】 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く取り上げられた具体例の展開に注目しながら、筆者の「美しさの発見」についての価値観や主張を理解し、今までの学習を生かして「美しさ」を知るために必要な感受性の養い方について自分の考えを深め、話し合おうとしている。			○	○	○	12
	定期考査								○	○	○	1
												合計
105												

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（2学年用）教科

国語 科目 言語文化

教科：国語

科目：言語文化

単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

使用教科書：（新編 言語文化

東京書籍

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 言語文化

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
芸術的文章の特性を正しく理解している。文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。古文や漢文、韻文の読解上の技法や文法、語句を正しく理解している。	文章内容を正しく理解し登場人物の心理を追うことができる。自分なりの意見や批評を表現できる。	作品内容を自己の生き方に反映できる。自分からより深く学ぼうとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書 読					
1 学 期	単元 現代文 【知識及び技能】 基本的な語彙力を持つ。漢検三級程度の漢字力を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 文章内容を正しく理解し自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し、自ら学びを深める。	さくらさくら 美しいということ とんかつ 雨漏りの音	○		○	【知識及び技能】 基本的な語彙力を持っている。漢検三級程度の漢字力を持っている。 【思考力、判断力、表現力等】 文章内容を正しく理解し自分の考えを表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し、自ら学びを深めようとしている。	○	○	○	11
	単元 現代文 【知識及び技能】 短歌俳句の技法を正しく理解する。小説上の文章技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品内容を正しく理解し登場人物の心理を追える。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深める。	柳青める 雪の深さを 羅生門 夢十夜			○ ○	【知識及び技能】 短歌俳句の技法を正しく理解する。小説上の文章技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品内容を正しく理解し登場人物の心理を追うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○	○	2
2 学 期	単元 古文 【知識及び技能】 古典文法の基本を正しく理解し重要古語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文を現代語訳出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深めようすることができる。	児のぞら寝 用光と白波 絵仏師良秀 徒然草 枕草子	○		○	【知識及び技能】 古典文法の基本を正しく理解し重要古語を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 古文を現代語訳出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深めようとしている。	○	○	○	12
	単元 古文 【知識及び技能】 古典文法の基本を正しく理解し重要古語を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古文を現代語訳出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深めようすることができる。	折々の歌 伊勢物語 平家物語 奥の細道			○ ○	【知識及び技能】 古典文法の基本を正しく理解し重要古語を理解できている。 【思考力、判断力、表現力等】 古文を現代語訳出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深めようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						○	○	○	2
3 学 期	単元 漢文 【知識及び技能】 漢文訓読の基本を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を現代語訳出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深めようすることができる。	訓読の基本 故事成語 絶句と律詩 論語 史話	○		○ ○	【知識及び技能】 漢文訓読の基本を正しく理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 漢文を現代語訳出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を自己の生き方に反映し自ら学びを深めようとしている。	○	○	○	18
	定期考査						○	○	○	1
										合計
										70

年間授業計画 様式例

桜町 高等学校 令和7年度（3学年用）教科

国語 科目 国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組

使用教科書：（国語表現 東京書籍

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、

生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	作品内容を自己の生き方に反映できる。自分からより深く学ぼうとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配 当 時 数		
			話・聞	書	読	読							
1 学 期	単元 表現とは何か 【知識及び技能】 表現とは何かを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 表現を学ぶに必要なものを理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら積極的に表現というものを理解しようとする。	冒頭の文章や「表現の窓」の文章を読んで、「表現とは何か」について考える。 さまざまなゲームに取り組み、表現を学ぶ際に重要なことを体験的に知る。	○		○		【知識及び技能】 自分の思いや考えを表現するために必要な語句を増やし語感を磨き語彙を豊かにしている。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において自分の思いや考えが伝わるよう話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 ゲーム等進んで体験して表現が伝わったときの喜びを理解しようとしている。	○	○	○	10		
	単元 分かりやすく説明しよう 【知識及び技能】 情報を整理し的確な伝達方法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 分かりやすい伝達方法について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活において的確な伝達方法を使用できる。	情報を整理し、「相手」「内容」「目的」「状況」に応じて、分かりやすく伝える方法を身につける。 学習を通じて得られた「分かりやすく説明する方法」を、日常生活においても状況に応じて使えるようにする。	○		○		【知識及び技能】 言葉には、自己と他者の相互理解を深める働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において自分の思いや考えが伝わるよう具体例を効果的に配置するなど話の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉遊びや言葉遣い、情報の整理などの観点から、説明の仕方を改善しようとしている。	○	○	○	13		
	定期考査				○	○		○	○	○	2		
2 学 期	単元 身体で表現しよう 【知識及び技能】 自分の身体が表現しているものを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の身体を使った効果的な表現を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の身体を使って日常生活においても表現できる。	自分の身体が表現しているものについて考えを深める。 演劇的な活動に取り組み、自分の身体を効果的に使って表現するスキルを身につける。			○	○	【知識及び技能】 自分の思いを表現するために必要な語句を使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」において相手の思いを引き出す工夫をし自分の思いを広げたり深めたりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 身体が表現することを意識しスピーチや発表などの際に効果的に伝えようとしている。	○	○	○	13		
	単元 「問い」で考えよう 【知識及び技能】 問う力や質問する力について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 的確な問う力や質問法を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 日常生活において有効な問いかけを実践できる。	問う力・質問力が自他の表現および思考の質に大きく関わることを認識し、その種類や機能を学び、活用法を習得する。 インタビューを実践することで、問い・質問のもつ力や意義、その重要性を体験的に学習するとともに、インタビューを文章で再現することで、構成力や表現力を養う。	○		○		【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴、構成や展開の仕方などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、読み手の共感が得られるよう文章の構成や展開を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 コミュニケーションや思考において「問う力」が重要であることを理解しようとしている。	○	○	○	15		
	定期考査				○	○		○	○	○	2		
3 学 期	単元 自分を表現しよう 【知識及び技能】 自分の客観的な姿を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 的確に自分自身を表現する方法を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 履歴書や面接において的確に自分を表現できる。	自己分析を行い、第三者の意見も踏まえて客観的に「自分」を把握する。 志望理由書・履歴書の作成時や模擬面接などで相手に伝わるように「自分」を表現する。			○	○	【知識及び技能】 実用的な文章などの種類や特徴などについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 「書くこと」において、自分の考えを明確にし表現の仕方を工夫している。 【学びに向かう力、人間性等】 自分を表現することで相手に共感をもって聞いたり読んだりしてもらうために必要なことを粘り強く理解し、今までの学習を生かして表現を改善しようとしている。	○	○	○	14		
	定期考査				○	○		○	○	○	1		
											合計 70		

年間授業計画 様式例

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科

国語

科目 国語表現

教科：国語

科目：国語表現

単位数：2 単位

対象学年組：第4学年 A組

使用教科書：（国語表現 東京書籍

教科 国語

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 国語表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、実社会における他者との多様な関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	作品内容を自己の生き方に反映できる。自分からより深く学ぼうとする態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
A	単元 論理的な文章を書こう 【知識及び技能】 小論文のタイプ・テーマの例を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】	・主張には根拠が必要であることを確認する。 ・小論文にはさまざまなタイプがあること、試験では時間配分と制限字数に注意することを確認する。					【知識・技能】 話し言葉と書き言葉の特徴や役割を十分理解し、目的に応じた適切な表現や言葉遣いを用いている。 【思考・判断・表現】				

1 学期	A テーマについて問題提起と主張ができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら積極的に論理的な文章を理解し、表現しようとしている。	・教科書・プリント・端末		○	○	設問の意図を適切に理解し、社会的事象や個人的な体験と関連づけて書く内容を決めている。主題を絞り込んでいる。 【主体的に取り組む態度】 設問に応じて主張を組み立て、根拠を明確にしながら論じることがを十分理解し、自らの文章を改善しようとしている。	○	○	○	18	
	B 単元 話し合う力をつけよう 【知識及び技能】 話し合いの意義、目的、機能を押さえてつづき、ファシリテーションの概念を確認する。 話し合いの基本的な展開（構造）を理解する。 【思考力・判断力・表現力等】 話し合いの経験を振り返り、クラスで共有しながら、話し合いの意義を探る。 話し合いの実践例としてのシナリオを読んで、問題点を分析する。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら積極的に話し合いに参加しようとしている。 定期考査	・話し合いの経験を振り返り、グループもしくはクラスで共有する。 ・「①共有→②拡散→③収束・合意形成→④確認」という基本の流れを押さえる。 ・問題について、意見の対立を中心にして把握し、原因となる物理的現象および人物の言動を読み出す。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	○	【知識・技能】 言葉には自己と他者の相互理解を深める働きがあることを十分理解している。 【思考・判断・表現】 言葉や態度、表情などから、相手の受け止め方や理解の状況を的確に捉え、同意や共感を得るために表現を十分に工夫している。 【主体的に取り組む態度】 ファシリテーションの意義や技法を十分理解し、話し合いの中で積極的に実践しようとしている。	○	○	○	13
								○	○		2
2 学期	C 単元 情報活用能力を身につけよう 【知識及び技能】 広報資料の種類や、制作のポイントを確認する。 【思考力・判断力・表現力等】 持ち寄った広報資料について、種類や特徴を分析する。 グループごとに広報資料の企画を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら話し合いや活動に積極的に参加しようとしている。	・広報誌、ホームページなど広報資料の種類について確認する。 ・伝える相手、目的、媒体を確認し、それらに合わせてどのような情報が必要かを確認する。 ・教科書・プリント・端末		○	○	【知識・技能】 報告書には適切でも中学生向けの広報資料には向かないなど、言葉の選択が伝わりやすさに関わることを理解して意識的に用いている。 【思考・判断・表現】 読み手に確かなイメージを十分に喚起するように、描写や説明を十分に工夫して書いている。 【主体的に取り組む態度】 広報資料の目的を理解し、読み手に伝えたい情報を幅広く集めて吟味し、話し合いながら工夫を重ね、協力してよりよい広報資料を作ろうとしている。	○	○	○	15	
	D 単元 説得力のある提案をしよう 【知識及び技能】 プレゼンテーションのポイントを認識する。 【思考力・判断力・表現力等】 過去に経験したプレゼンテーションについて、内容やかかった時間、使っていたものや工夫などについて話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 自ら話し合いや活動に積極的に参加しようとしている。 定期考査	・グループで過去に経験したプレゼンテーションについて話し合い、内容や状況、かかった時間、使った機器や道具、工夫されていたことを挙げる。 ・提案した内容に対して、教科書を参考に、内容を深め、より提案するにふさわしい内容を考える。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	○	【知識・技能】 言葉の選び方が聞き手の納得度に関わることを十分に理解している。 【思考・判断・表現】 説得力のある提案となるよう適切な根拠を効果的に用い、話の構成や展開を十分に工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 プレゼンテーションを行う活動を通して、説得力のある提案をするために必要なことを理解し、積極的に実践しようとしている。	○	○	○	11
											2
3 学期	E 単元 表現を楽しもう 【知識及び技能】 複数のエッセーを読み、比べて表現の魅力を感じ取る。 【思考力・判断力・表現力等】 身近な日常生活からエッセーの題材を見つけ、題材の経験を踏まえおす。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に活動に参加しようとしている。 定期考査	・複数のエッセーを読み比べてどこが違うか、表現の工夫をクラスで出し合って共有する。 ・下書きをグループで回し読みして、遂行に向けて互いにアドバイスし合う。 ・教科書・プリント・端末	○	○	○	【知識・技能】 ジャンルの特性に応じて、表現したい内容に合った言葉を吟味し、豊富な語彙から選んでいる。 【思考・判断・表現】 どんな読み手にも意図したイメージが伝わるように、描写や説明を十分に工夫して書いている。 【主体的に取り組む態度】 創作に意欲的に取り組み、読み手を意識しながら粘り強く表現の仕方を工夫して、自分が思い描いたことを的確な言葉で表現しようとしている。					8
											1
											合計
											70